

大学連携の取り組みについて ～障がい福祉分野の人材確保～

都市魅力部シティプロモーション推進室主催、大学連携推進協議会において、「大学内での障がい福祉施設の授産製品販売」、「障がい福祉サービス事業所の学生アルバイト募集」について、報告・意見交換を行いました。(R4.7~R4.8)

参加大学:大阪学院大学、関西大学、千里金蘭大学、大和大学

1. 学園祭での授産製品販売

・学園祭(R4.10~R4.11)にて、授産製品販売を行いました。
(大和大学・千里金蘭大学・大阪学院大学)
⇒ゼミの学生、ボランティアの学生も参加するなど、学生の障がい福祉分野に触れるきっかけづくりとなりました。



2. 大阪学院大学「キャリアデザイン入門Ⅰ」 官学連携PBL 課題提示イベント

大阪学院大学にて、「授産製品がもっと売れるためには」「若年層にもっと興味を持ってもらうには」をテーマに、障がい福祉室より課題提示を行い、1か月後に学生から課題解決提案発表がありました。(R4.11~R4.12)

⇒学生から、授産製品の普及・売り上げ向上のためには、まず知るためのアプローチが必要なため、教育機関と連携するといった具体的なアイデアや、売り上げ向上のためのSNS活用アイデアなど、さまざまな意見が出ました。授産製品について知らなかった学生が、1か月課題に取り組み、障がい福祉に対する知識や理解を深める機会となりました。

この他、令和4年度は

- ・大和大学内の川田ゼミと「はぴすま」の共同販売の定例化
 - ・大学関連施設での授産製品販売検討
 - ・研究者との連携の可能性の提案
- など、障がい福祉分野における取組の可能性が広がりました。
引き続き、大学連携について取り組んでまいります。